

謹賀新年

新年のあいさつ

更なる議会改革を目指して

昨年を振り返りますと、依然猛威を振るう新型コロナウイルス感染症の拡大により、住民生活や地域経済は大きな影響を受け、引き続き我慢を強いられるなか、医療従事者をはじめ多くの関係者の御協力により新型コロナウイルスワクチン接種が進みました。

このように迅速な対応によって、新型コロナウイルスワクチン接種、感染防止策や経済支援策などを進め、私たちの日常が少しずつではありますが平時の状態に戻りつつある年となりました。

一方、昌平高等学校から初めてのプロ野球選手が誕生、また、ラグビー全国大会出場を果たすなど明るいニュースもありました。

今年も、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、議会運営を進めてまいりますので、御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

謹んで新年の御挨拶を申し上げます。



杉戸町議会議長
須田 恒男

町民の皆様には、輝かしい新春を健やかに迎えることとお慶び申し上げます。

こうした中、国では岸田内閣が誕生し、新型コロナウイルス対策と新しい資本主義の実現などを柱とした信頼と共感を得られる政治を基本とする内閣としてスタートしました。町では、新たに策定された「第6次総合振興計画」で掲げた「みんなで育てるまち すぎ」の実現に向け、主要な事業であります東武動物公園駅東口通り線の整備・推進、旧杉戸小学校跡地活用、出産・子育て応援など、着実に事業が進んでいます。

日ごろより、議会に対しまして御理解と御協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

議会といたしましては、昨年、議会の構成が変わり新たな体制でスタートしました。まちづくりの方針を決める議決権は議会にあります。二元代表制のもと、町民からの信託に応える責務を負っており、更なる議会改革を推進し、議会の公正性、公平性及び情報の共有化を図り、開かれた議会を目指してまいります。引き続き、皆様の声を実現するため全力で取り組んでまいります。

結びに、寅年は逆境に負けない年と言われます。この一年が明るく、幸せな年になりますよう心より御祈念申し上げます。新年のあいさつといたします。

未来へ繋ぐ



杉戸町長
古谷 松雄

明けましておめでとうございます。町民の皆様には、希望に満ちた新春を健やかに迎えることと心からお慶び申し上げます。

その東武動物公園駅東口通り線整備事業の用地取得は着々と進み、また旧杉戸小学校跡地（現在の中央公民館周辺）の活用も事業者が決定しました。今後は、既存施設の解体工事も開始され、民間活力を導入した拠点施設へ生まれ変わる整備も進めてまいります。

昨年、世界中が新型コロナウイルス感染症への対応に追われた一年でした。このような緊急事態にあっても、医療従事者をはじめエッセンシャルワーカーの皆様においては、町民の日常生活を支えるべく、昼夜を問わず奮闘されており、心から御礼申し上げます。

杉戸が誇るお祭りなどが中止となり、町民の皆様みんなで盛り上がるのが困難な状況となりました。一日も早いコロナ終息を願い、今年是非とも、心と心を繋ぐ各種イベントを新しい生活様式を取り入れながら開催し、以前の様に、杉戸の魅力が町内外に発信していきたいと考えております。

町民の皆様には、より一層の御理解・御協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

今年も、引き続き、新型コロナウイルス感染症の収束に向けた対策はもちろんのこと、少子高齢化・人口減少などの大きな課題に正面から向き合い、大きな夢に向かって、果敢にチャレンジしてまいります。

引き続き、新型コロナウイルスに強い危機感と緊張感を持ちながら、感染防止対策と社会経済活動の両立を維持できるように全力で取り組んでまいります。

依然として地方自治体の取り巻く環境は厳しい状況が続いておりますが、町民サービス向上のための施策を着実に実施し、皆様に喜ばれるまちづくりを全力で取り組んでまいりますので、町民の皆様には、より一層の御理解・御協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

さて、改めて昨年を振り返りますと、何と言っても、東京2020オリンピック聖火が、役場から杉戸宿の街並みを通して、メインストリートである東武動物公園駅東口通り線を通してのことです。未来へ繋ぐ希望の灯として、六人の聖火ランナーが力強く駆け抜けましたことは、次世代へ受け継ぐレガシーとなりました。

結びに、町民の皆様一人ひとりにとりますように、幸多き素晴らしい年となりますよう心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。